

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和4年 2月 24日

事業所名: 放課後等デイサービス やってみる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			人数や活動内容によって活動スペースを使い分けている	活動内容に応じて小グループや個別に分けた活動を行い個々の状況に合わせた支援を行った。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			有資格者を採用し対応している	保育士を採用し、子ども達により丁寧な支援が提供できるよう支援体制を整えた。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		ちょっとした段差など転倒防止などの対応を取っている	建物の構造上、バリアフリーが難しい場合もあるが、要望があれば可能な限り対応する必要がある。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員全員でミーティングを実施している	今後も全職員で意見交換をしながら業務改善に取り組んでいく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今年度も実施している	頂いた意見を参考に改善に取り組んでいく必要がある。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			集計した結果をホームページで公開予定	集計した結果をホームページで公開し、頂いた意見をより良いサービスにつなげていく必要がある。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は実施できていない	法人全体で実施に向けた検討を行う。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			計画的に外部研修の予定を組み参加している	各スタッフの資格や経験年数に応じた研修会へ参加を計画的に行い、支援の質の向上に努める。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			契約時にアセスメントを行っている。	ニーズや課題等を整理し、計画を立案している。毎年定期的に聞き取りを行い、お子さまの状態にあった計画の作成、実施に取り組む。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			統一したアセスメントシートを使用している	子ども達の状態に合わせてながら、アセスメントシートの改善を進めていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムについては全職員が参画し立案している	利用者の状況に応じた内容を検討、実施し活動内容をより充実させる必要がある。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			月ごとにプログラムの実施を変更している	現在、プログラムの実施状況を振り返りながら計画を立てている。今後、利用者状況を整理しながら立案する必要がある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、長期休暇で課題やプログラムを変更している	利用者状況を見ながら、各年代に合わせた課題やプログラムの整理は必要である。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況に合わせた活動を準備している	子どもの状況に合わせて、個別対応や集団での活動を実施している。定期的なモニタリングを実施し状況を整理する。
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			事前に活動内容や前回の様子などを確認している	活動時の役割分担など、前回の活動の様子などをスタッフ間で共有しながら支援のポイント等を整理する。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			気づいたことは、当日に共有している	支援の振り返りや気づきの共有は今後も継続して取り組み、活や支援内容の充実を図る。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録した内容を確認し改善につなげている	正確な記録の書き方や統一した表現を整理する必要がある。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングしている	定期的なモニタリング以外でも保護者とのやり取りの中で気づいた点について情報を共有し必要に応じて支援計画につなげる必要がある。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせず支援を行っているか	○			複数の活動を準備し組み合わせず実施している	年齢に応じた活動内容の準備、整理を定期的に行い、活動内容の充実を図る必要がある。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議には児発管が出席している	コロナ禍で担当者会議の回数は少ないが、今後も出席が可能な場合は児発管が参加する。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		情報共有は保護者を通じて行っている学校もある	学校によって情報共有の方法に違いがあるため、今後学校や担任との関係構築も必要である。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		服薬などがあるお子さんに関して情報を整理している	現在、医療的ケアが必要なお子さんの利用がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		今年度、該当者なし	来年度、対象者がいるため保育園、幼稚園、児童発達支援事業所や相談員支援員との情報共有を計画に進める必要がある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	今年度、該当者なし	今後、卒業生がいた場合に情報共有の方法などを整理していく必要がある。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	専門機関の連携は図れていない	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等が企画する研修等に計画的に参加する必要がある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	実施できていない	来年度、地域で活動しているスポーツ団体などの交流会を検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	今年度、参加できていない	自立支援協議会の参加は、送迎時間や利用者の受け入れ時間と重なった場合、参加が難しいことがある。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時など引継ぎの際に保護者と情報共有を図っている	要望があった場合、個別面談など柔軟に対応できる体制を整える必要がある。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	今年度実施できていない	来年度ペアレントトレーニング等の支援が実施できるよう計画する。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っている	契約時以外でも質問があった際は、対応した職員が返答できるよう職員の周知も必要である。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった場合は随時対応している	相談内容によってはセラピストの意見等も必要になる場合もあるため専門機関との連携も必要である。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今年度は実施できていない	来年度以降、保護者会や茶話会の実施などを計画する必要がある。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		苦情対応の整備は整えている	現在まで苦情の受付はないが、苦情があった場合に迅速に対応できるよう職員間で対応について周知を図る必要がある。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			SNSを活用している	今後も活動の様子等をSNSやホームページで紹介し、行事予定などもお知らせできるようにする。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人データの持ち出し等は禁止している	職員間で個人情報の取り扱いについて定期的に周知を図ることが必要である。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			写真や絵カード等を使用している	連絡帳やメールを活用しているが、アプリなどの利用も検討する。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域との連携は図れていない	今後、地域住民との交流会などを計画し実施していく必要がある。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		各種マニュアルを作成している	避難経路等を事業所入り口に掲示している。またその他のマニュアルについても閲覧しやすい場所に設置する。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			長期休暇を利用して訓練を実施している	長期休暇中に火災と地震の避難訓練を実施している。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止研修会に参加している	虐待防止関連の研修会にスタッフが参加している。来年度もスタッフの参加を予定している。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時にご家族に説明を行っている	具体的な事例などを示し、分かりやすく説明する方法を検討する必要がある。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーについては聞き取り時にご家族に確認している	医師の指示書がある場合は、控えを取り職員間で周知を図る。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ヒヤリハット報告書を準備している	事業所内の事例集は準備できていないが、他事業所の事例集などを参考に準備する必要がある。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)